

関の工場参観日

MANUAL BOOK



SEKI FACTORY OPEN DAY IS AN EVENT YOU CAN SEE THE TECHNIQUE, HEAR THE SOUND, AND FEEL THE CRAFTMANSHIP OF A LOT OF FACTORIES IN SEKI.
YOU WILL BE PROUDER OF SEKI'S QUALITY AFTER THESE 3 DAYS. WHY DON'T YOU JOIN US?

CONTENTS

01	関の工場参観日とは? VISION MAP / VISION / MISSION / VALUE / PURPOSE	2
02	年間スケジュール	8
03	工場見学の例	9
04	工場見学5つのポイント 背景・想い/製品・技術/魅せ方/おもてなし/安全	10
05	当日のコンテンツ	18
06	キャリア教育事業・広報	19
07	データから見る関の工場参観日	20
80	参加事業所向けQ&A	21
09	関の工場参観日 実行委員会組織図	22



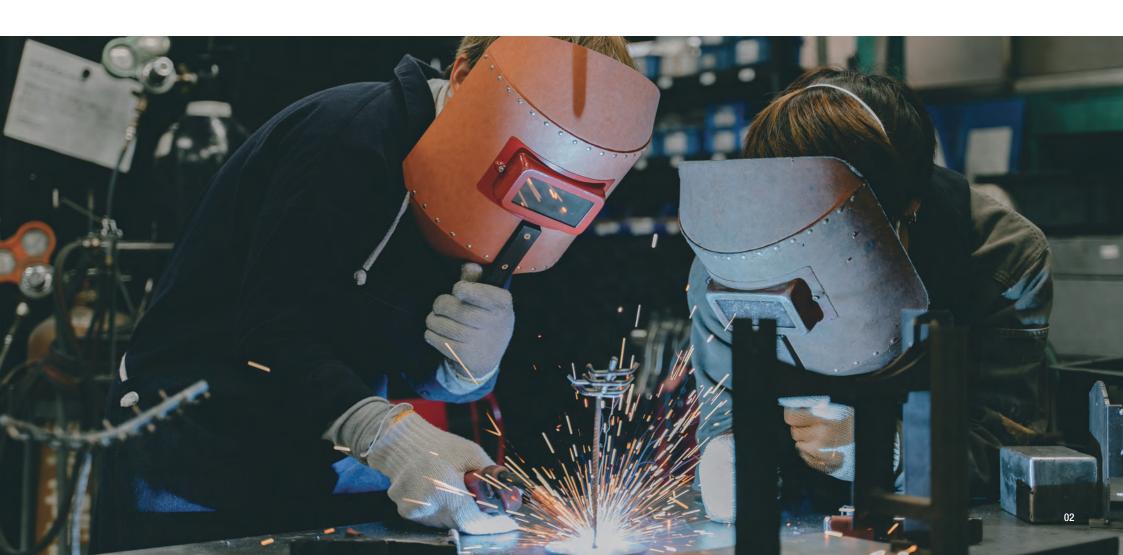
関の工場参観日とは?

主催

企画運営 関の工場参観日実行委員会

(関市内のものづくりに携わる事業者、関市役所など)

「関の工場参観日」は2014年にスタートした、岐阜県関市のものづくりの現場を見学・体験できるイベントです。関市は日本一の刃物の産地として知られ、近年は自動車、医療、精密機械などに関わるさまざまな職人技を有する企業が集まる「ものづくりのまち」として発展してきました。しかし、従業員の高齢化、職人の後継者不足、技術の継承が深刻な地域課題となっています。そこで、関市の誇る事業所の高い技術力や高品質な製品を市民はじめ多くの人々に直に体感していただき、また個性ある経営者や職人と接しながら製品の知識を深めることで、地元企業の魅力を再認識してもらうとともに、まちに誇りや愛着を持つ心を育む機会として「関の工場参観日」を開催しています。



VISION MAP

関の工場参観日では「地域全体に好循環を生み出す」ことを「VISION」に掲げ、その実現のために「MISSION」「VALUE」「PURPOSE」に基づいて運営をしています。

VISION

[目指す理想の姿]

地域全体に好循環を生み出す

MISSION

[工場参観日の役割]

職人プライドの向上 関の工場のファンづくり

VALUE

[工場参観日が大切にしていること]

みんなが主役

PURPOSE

[工場参観日に参加する企業の目的]

各企業の発展

VISION

[目指す理想の姿]

地域全体に好循環を生み出す

企業の活性化は、関市の活性化につながり、 地域の知名度が向上し来訪者が増えると、 企業も活性化します。このように、企業の活 性と地域の活性は互いに影響を与え合いま す。「地域全体に好循環を生み出す」ことが 関の工場参観日の「目指す理想の姿」です。

地域の活性化



企業の発展

移住・定住

- 住みたい・働きたいまちになる
- 若者の移住促進
- 交流人口の増加



観光

- 飲食や観光地の情報発信
- 「産業観光 | の確立



後継者・担い手

● 子どもたちが将来関市で働きたい、ものづくりに携わりたいと思う



シビックプライド

- 地元の魅力再発見
- 市民が関市を自慢したくなる
- ものづくりのまちとしての関市に誇りと愛着を持ってもらう



MISSION

[工場参観日の役割]

職人プライドの向上 関の工場のファンづくり

工場を開放し一般の人に見学してもらったり、 ワークショップを通してものづくりを体験しても らうことで工場で働く職人やスタッフが自分の 仕事に誇りを持ち「職人プライド」が向上する こと、そして関の工場や地場産業のファンを 増やすことが「工場参観日の役割」です。

職人プライドの向上

- 職人としての誇りを持つ
- 働く人が自分の仕事に誇りを持つ
- 働き甲斐の向上



関の工場のファンづくり

- ものづくりに愛着を感じてもらう
- ワークショップでものづくりを体験してもらう
- 工場見学でものづくりを体感してもらう
- 職人はかっこいいと感じてもらう
- クラフトマンシップを知ってもらう



VALUE

[工場参観日が大切にしていること]

みんなが主役

工場参観日は、1社では実現できないことを、 関市全体を盛り上げる意志のある工場同士 が力を合わせて、実現することを大切にして います。また、10年、20年先の中長期的視 点を持って、イベントに取り組んでいます。

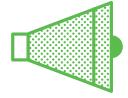
1社ではできないことをみんなで実現

● 企業同士の横のつながりで発信力向上



自社の技術や製品に誇りを持っている

- 自社の魅力を自信を持って使い手に伝える
- 自分たちの声で伝える



関市全体を盛り上げる意志がある

- イベントを中長期的に捉えている
- 主体的に盛り上げる意志がある



PURPOSE

[工場参観日に参加する企業の目的]

各企業の発展

工場参観日に参加企業として関わることで、さまざまな観点から企業の発展が期待できます。いいものづくりをPRすることは自社のファンづくりにつながり、後継者の育成や新たな人材獲得、企業間交流などさまざまな効果があります。

自社のファンづくり

- いいものづくりをPR
- ものづくりに愛着を感じてもらう
- 働く人をかっこいいと思ってもらう



後継者・担い手

- 工場見学の説明や実演による人材育成
- ここで働きたいという人との出会いが採用につながる
- 働く人が自社に誇りを持てるようになる

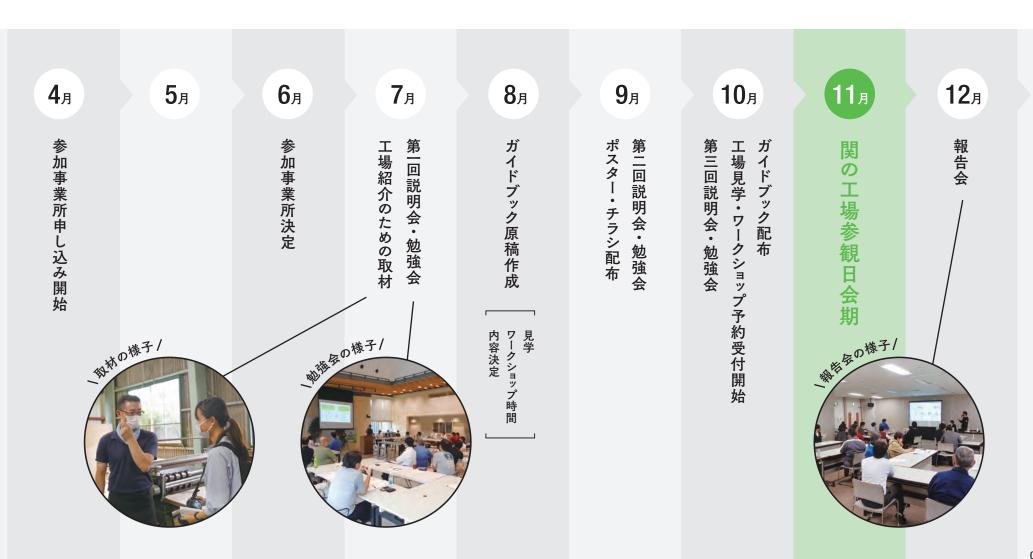


企業価値UP・魅力UP

- 情報発信力の向上
- ●ここでつくられたものが欲しいと思ってもらう
- 技術のPRが新しい仕事につながる
- 企業間交流
- 自社商品開発のきっかけになる
- 売上UP



年間スケジュール (予定)



03 工場見学の例

工場の歴史やものづくりのストーリーを紹介。スライドを使用したり簡単な資料を準備しておくとわかりやすい!

4工場見学



ものづくりの工程に沿って、 工場内を案内。安全面の 注意喚起も忘れずに!

5ものづくり体験

\ START /

1お出迎え



参加者を会社全体で おもてなしの気持ちで お出迎え。

3 会社紹介



見学の前に、立ち入り禁止 区域、NG行為など見学の ルールや注意点を伝える。



職人といっしょにもの づくり体験ができる ワークショップ。

6アンケート 職人への手紙



手紙を記入しても 回収する。 / **FINISH** \

2 見学ルールの アナウンス



来年の運営に活かす ためアンケートと職人 への手紙を記入しても らい、回収する。

工場見学5つのポイント

工場見学を実施するにあたり、心掛けるべき5つのポイントが「背景・想い」「製品・技術」「魅せ方」「おもてなし」「安全」です。これらを意識して準備することで、来場者に工場やものづくりについて、より魅力的に伝えることができます。

背景・想い

ものづくりの背景や働く人の想いを伝える



製品・技術

自慢の商品や技術の魅せ方を工夫する



魅せ方

職人を主役にした「解説×体験」



おもてなし

あいさつや笑顔、会社全体で参加者を歓迎する



安全

参加者が安心して見学できる空間づくり



背景・想い

- ポイント ① お客さんは素人の方(専門的な用語は避ける)
 - ② 写真を使って短い言葉で
 - ③ 会社の想いやものづくりへの想いを伝える





工場の魅力を伝える

工場の魅力は「働く人」「職人の技」「作っている製品」です。工場見学 やワークショップでは、その魅力をわかりやすく伝えることが大切。会社 の魅力をしっかりと伝えれば「この会社で働きたい!!「この会社でつくら れたものが欲しい!」と思うファンが増えていきます。それが働く人のやり がいや誇りとなり、その家族の誇りにもつながります。

お客さんは素人

お客さんは業界のプロではなく、工場やものづくりの知識がない一般の 方がほとんど。そんな方が、期間中は1日で何社も工場を回ります(平均 3社)。あれもこれもと詰め込みたくなりますが、長時間になりすぎないよ うに工夫しましょう。

会社紹介で、工場見学が面白くなる

工場見学の始めに行う「会社紹介」はとても重要です。「この後見学す る工場で働く人たちはこんな想いで働いている」ということを伝えておく と、参加者の見る目が変わります!

おすすめプラン

「工場見学のみ」

会社紹介(5分)+工場見学(20-30分)

*全体で30分程度が集中しやすい

「工場見学+ワークショップ]

会社紹介(5分)+工場見学(20-30分)+ワークショップ(10-20分)

*全体で1時間以内が楽しんで参加しやすい

「ワークショップのみ〕

会社紹介(10分)+ワークショップ(30-60分)

*ワークショップのみの開催であっても、会社のファンになっ<u>てもらうための会社</u> 紹介(魅力を伝えること)を忘れずに!

製品・技術

ポイント 自慢の商品や技術の魅せ方を工夫する 工場が生み出す製品には、いろいろな技術や工程が詰まっています 各社自慢の製品や技術をさまざまな方法でお客さんに伝えます







工場の日常は、お客さんにとっての非日常。 いつもの何気ない作業が、 お客さんの目には新鮮に映ります。

見学者は工場を見るのが初めて。 普段触れられないこと(体験)を楽しみにしています。 工場の中でいつもやっていることを見てもらうことが大切です。

① 材料

材料はものづくりの原点! 刃物材料がどんなものなのか、刃物業者はわかっていても他業種の方は知らないことです。 ただ材料が置いてあるだけのところ (倉庫) でも、説明を加えるとわかりやすいです。 「お客さんは素人」であることを忘れずに、ものができる過程を見学してもらいましょう。

② 道具・機械

材料を加工する道具や機械にスポットを当て、工場の得意な技術・工程を紹介し、道具を使っているところを見てもらいましょう。加工前と加工後を比較すると、道具や機械の役割がわかりやすくなります。 <u>道具や機械を使っているところは工場見学のハイライト</u>です。職人さんの技を真剣に見てもらえます。

③ 製品

工場の技術が詰まった製品を紹介します。一見マニアックでも、工夫次第で面白さが伝わります。技術を見て、体験してからの製品は一味違って見えます。工場が初めてのお客さんも、技を見たり説明を聞いてから製品を見ることで感動してもらえるのです。仕掛品(加工前)と製品(加工後)を見てもらうとわかりやすいです。

魅せ方

ポイント 職人を主役にした「解説×体験|





主役は職人

関の工場参観日では、特に工場で働く人・職人さんにフォーカスを当て てきました。自分たちが気づいていない、職人さんや工場の仕事のかっ こよさを引き出すことで、企業や働く人を好きになってもらいましょう。

とことんわかりやすく

お客さんのほとんどは、工場やものづくりに対して知識がありません。当 たり前のこと、些細だと思っていることがわからなかったりします。例えば、 入り口がどこなのか。駐車場から離れたところに入り口がある工場は、 サインや誘導をわかりやすくするなどちょっとした工夫で、ぐっと工場見学 をしてもらいやすくなります。

ポジティブな面とネガティブな面を

会社や仕事の説明をするときは、ポジティブな面とネガティブな面、どち らも伝えることをお勧めします。

ポジティブな面としては、仕事への想いや、自信のあるスキルについて。 説明しづらい場合は事実(何十年もこの仕事をやっている、不良品を出 さないなど)を交えると伝えやすいです。そして、仕事の難しさや過去の 失敗談など、ネガティブな面もあえて話してみましょう。良いことだけでな く、マイナスを伝えることでドラマが生まれ、お客さんは共感し、応援した い気持ちになります。

例えば、品質に自信のある工場であれば、あえて不良品を見せます。一 見すると、お客さんには何が不良なのかはわかりません。それを見せる ことで、品質の高さを理解してもらうことができます。



見学者に工程を楽しんでもらう

実際に職人さんが行う工程を体験してもらうと、その技術の高さや、難しさなどの理解度が増します。特別な準備やお金をかける必要はありません。例えば、刃物の切れ味を確かめる検品作業をしてもらう。職人さんはどんなところに目をつけているのか、実際に参加者に手を動かしてもらい、体感してもらいましょう。

職人さんの人柄を伝える

工場参観日の醍醐味の一つは、職人さんから直接お話を聞くことができること。ものづくりについて熱く語ることでその人柄を知ってもらいましょう。加えて、写真や展示などで職人さんたちの日常が垣間見られるような紹介もあると、ぐっと職人さんを身近に感じることができます。

おもてなし

ポイント あいさつや笑顔、会社全体で参加者を歓迎する





元気なあいさつ

参加者が来たら「こんにちは」「いらっしゃいませ」と大きな声であいさつをしてください。まずは、あいさつでおもてなしの姿勢を表しましょう。

一生懸命な説明

スタッフが一生懸命に会社のこと、工程のことを説明する姿勢に来訪者の方はおもてなしを感じます。ポイントは上手に説明することではありません。口下手でも良いので、一生懸命に説明することです。そして、これらを笑顔で行えたら最高です!

会社全体でおもてなし

大事なことは、社長や担当者だけでなく、会社のスタッフ全体で参加者を快くもてなすことの重要性を理解することです。社長や玄関口のスタッフは感じが良かったのに、工場に入ったら職人はあくせく働いてばかりで、「忙しいのに…」という感じで対応されてがっかりしたという声も聞いたことがあります。これでは、せっかく来訪いただいた方にマイナスの印象を与えかねません。会社全体で来訪者をWelcomeしてもらえるように、担当者が会社全体におもてなしの心を共有しましょう。

安全

ポイント参加者が安心して見学できる空間づくり





立ち入り禁止区域の設定

工場見学では、お客さんの安全が確保されているかも忘れずに確認す る必要があります。安全を第一に、安心して見学できる空間づくりを心 がけてください。お客さんはどこが危険でどこが安全なのかが全くわかり ません。危険なものは機密性の高い場所へ、立ち入り禁止はパイロンな どを使用して視覚的に訴えるようにしましょう。

見学地区から危険物を除く

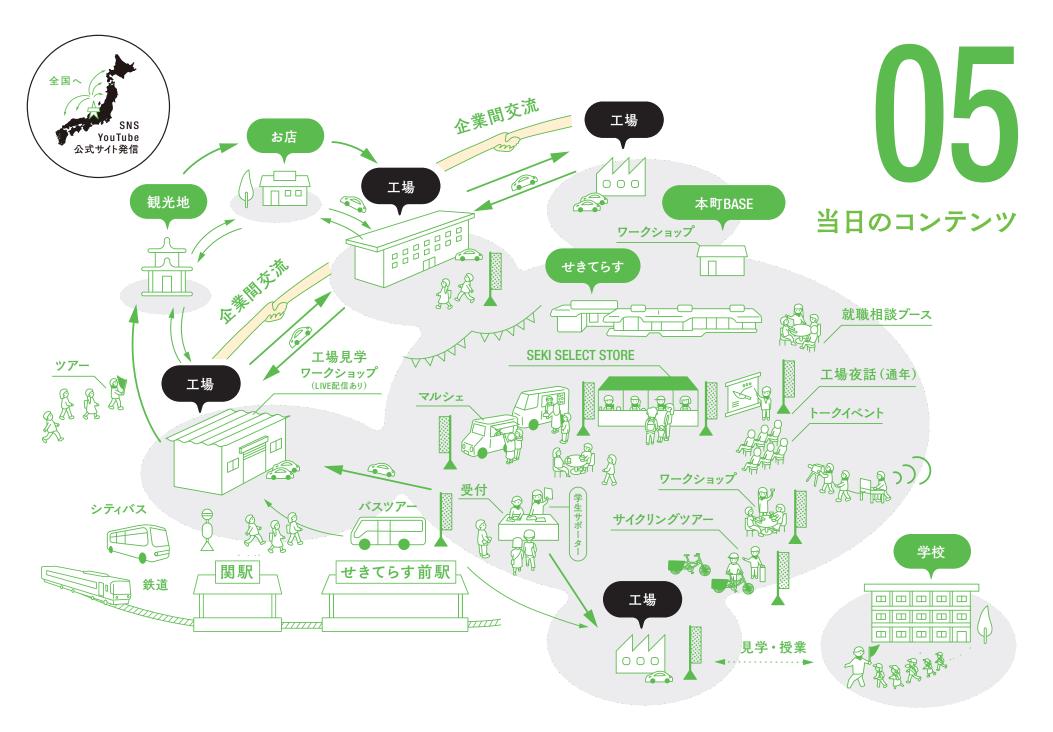
普段は業務上工場内に置いてある危険物も、見学の動線からは省いて おきましょう。お客さんには小さな子どももいます。子どもの目線に立って、 危険物が取り除かれているかをチェックしましょう。

工場内にサインを設置

普段見慣れないものがたくさんある工場で、お客さんはいろいろなもの に触れてみたくなります。触れてはいけないものや、撮影NGなものは明 確にしましょう。あらかじめ工場見学が始まる前に説明し、その上でそれ ぞれの現場にはタッチ禁止やカメラ禁止マークなどを設置するようにしま しょう。サインは参加工場にお配りするので、随時必要なものを活用して ください。

お客様に向けた誘導と声かけを

特に子どもは、興味の赴くままに自由に動き回ります。保護者が説明を 聞いている間に走り回る…ということも少なくありません。工場の説明を する引率者のほかに、お客さんを見守るスタッフを配置するなど、2名以 上で体制が組めると良いです。



キャリア教育事業・広報



キャリア教育事業

将来の関市の産業の担い手となる子どもたちに、地元の産業への理解を深め、工場で働くことに関心を持ってもらうことを目的として「キャリア教育」事業に力を入れています。イベントの会期に関わらず、年間を通じて関市内の小中学校の児童の見学受け入れや、出張工場参観日として出前授業を実施。子どもたちにものづくりの楽しさや関市に受け継がれる産業の魅力を伝えています。

「2022年度実績]

- 市内小中学校5校、約320人が工場を見学
- 市内中学校2校、約280人に対して出張工場参観日を実施

広報

関の工場参観日では年間を通じた情報発信の取組みを行っています。 イベントの会期中だけではなく継続的な情報発信を行うことで、工場やイベントのファンを増やしています。

「工場夜話〕オンライン配信あり

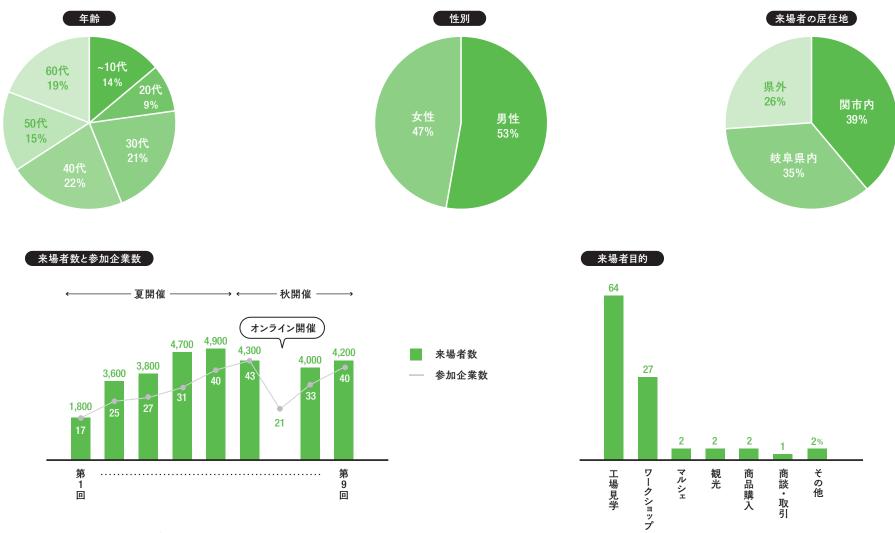
せきてらすを会場に、参加事業所を中心とした事業所の方をゲストに招いて、普段は聞けない工場の赤裸々なトークを繰り広げるイベントです。

「イベント出店]

より多くの人に知っていただくために、ワークショップや物販でイベントへの出展もしています。2022年度は「岐阜クラフトフェア」に出展しました。







データから見る関の工場参観日(2022)

2022年に開催した第9回関の工場参観日では、40企業が参加、4,200人の方が来場されました。来場者数はコロナ禍前に戻りつつあります。来場の目的は、工場見学とワークショップがほとんど。来場者の男女比はほぼ半々で、年齢層は比較的ばらけていますが、今後は20~40代の若い世代の来場者数増加を目指しアプローチを図ります。来場者の居住地は関市内が最も多くなっていますが、岐阜県内(関市以外)、岐阜県外を合わせた割合が過去最高となり、市外から訪れる人が増加しています。

参加事業所向けQ&A

関の工場参観日に初めて参加する事業者向けに、よくある質問をまとめました。 工場見学の参考にしてください!

(Q1) 「関の工場参観日」の参加のメリットはなんですか?

VISION MAPに書いてあることのほかに、よく聞く声として 以下があげられます。

- ●社員の会社への想いが強くなった
- ●社員が会社のことを説明できるようになった
- ●工場内を見られることで整理整頓がされる
- ●普段関わることのない他社や異業種との横のつながりができる
- ●新しい人材を採用できた

② 会期中はずっと工場を開放しなければならないですか? 見せられるエリアも少ないです。

参加する日数や時間はそれぞれの企業で 決定していただけます。

平日(木・金)だけや1日だけでも大丈夫です。またワークショップのみでも参加できます。工場見学は、見せられる場所だけを見てもらえば大丈夫です。 見せたくない、入ってほしくないエリアを示すサインなどもお配りします。 Q2) 工場開放やワークショップをやったことがなくて不安です。

参加事業者向けに全3回程度の勉強会を 実施する予定です。

勉強会では、工場参観日の概要を伝えるだけでなく、これまで何度も工場見学やワークショップをやってきたベテラン企業から直接話を聞いたり、相談することもできます。また随時、実行委員会や事務局(市役所)が疑問にお答えします。

Q4) 工場がなくても参加できるでしょうか?

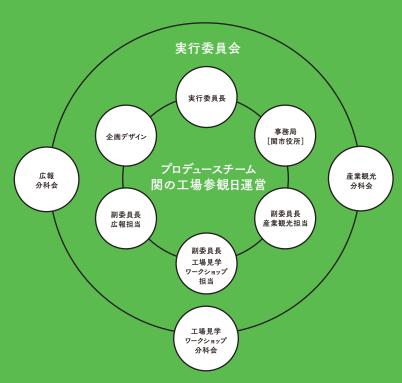
飲食店や観光施設など、工場を持たないけれども 工場参観日に参加したいという企業やお店は、 パートナーとして関わっていただけます。

詳しくは関の工場参観日実行委員会までお問い合わせください。

関の工場参観日 実行委員会 組織図



実行委員会組織図



工場が主体の組織

参加事業所の有志や市役所などが参加する「関の工場参観日実行委員会」が企画や運営の中心を担っています。

1~2ヶ月に1度開催される実行委員会では、企画の方向性や具体的な事業について、参加事業者や市役所職員などがそれぞれフラットな立場で知恵を出し合い、意見を交わしながら、イベントの実現を目指します。